



学生にこんな様子 見られませんか？

授業でかかわる学生やゼミ生に、以下のような様子の学生はいませんか？チェックしてみてください。



1	大学に来ない。連絡してもつながらない。返信がない(学生同士でも)。	
2	学業成績が不振である。または成績が著しく悪化した。	
3	レポートなどの課題が期日までに仕上げられていない科目がたくさんあるようだ。	
4	指示したことが伝わっていないように感じることもある。	
5	自分の意見を書く課題がでると、提出しない。	
6	ゼミの仲間や同級生とかかわっている姿をあまり見かけない。	
7	対面よりもオンライン授業の方が、課題をよく提出できている。	
8	授業(対面&オンライン)への遅刻や欠席が目立ち始めた。	
9	演習やゼミで、グループワークや発表する課題が増えてから、遅刻や欠席が目立ちはじめた。	
10	べたべたと甘えてくるかと思えば、突然敵対的になったり、恋人や友人関係の変化が激しかったりと、対人関係が不安定。	
11	いきなり泣き出したり大声を出すなど、情緒が不安定。	
12	教員と学生という関係を越えて、個人的な関係を求めてくる。	
13	自傷行為をしていると打ち明けられた。あるいはその痕跡がある。	
14	犯罪被害や近い人との死別など、外傷的な体験をしている。	
15	人前や電車の中など特定の場面で、動悸や息切れのような身体症状が現れ、しばしばそのために求められる課題を遂行できない。	
16	気持ちの落ち込みが激しく、覇気がない。	
17	話すときにこちらと目が合わない。明らかにおびえて緊張している。不安そうである。	
18	死にたいと訴える。過量服薬など自殺未遂の既往歴がある。	
19	主に対人関係上の妄想的な訴えがあり、常識的な説明では修正されない。またその妄想により周囲の人間関係でトラブルを起こす。	
20	お風呂に入る、爪を切る、髪を洗う、のような身体衛生に関する基本的なセルフケアができていない。	
21	体重の増減が激しい。	
22	不眠や食欲不振の訴えがある。	
23	ギャンブル(主にパチンコ)、カルトが疑われる課外活動や勉強会にはまっている。	
24	上記に必ずしも当てはまらなくても、相談にのる教員側の負担感が大きい。あるいは増してきた。	

ひとつでも当てはまったら、カウンセリングルーム、障がい学生修学支援ルームに相談を！
連絡先は裏面をご覧ください。



学生にこんなことが考えられます

チェックリストの項目のような様子を示す学生は、発達障がいや精神障がいなどの困難を抱えている可能性があります。大学に来なかつたり、成績が不振だと怠けているのではないかと思われがちですが、実は、学生自身、自分の状態に違和感を感じながらも助けを求めることができずに困っているのかもしれません。その意味でも、周囲が早期に異変に気づき、支援を行っていくことが大切です。それだけでなく、学生に対してこちらが感じる違和感は、実は学生自身も周りとの違いで悩んでいるということを示している場合もあります。詳しくは、障がい学生修学支援ルームのHPに掲載している「障がい学生サポートハンドブック」の当該ページをご覧ください。

1	大学に来ない。連絡してもつながらない。返信がない(学生同士でも)。	この段階での相談は 早期支援 につながります。
2	学業成績が不振である。または成績が著しく悪化した。	
3	レポートなどの課題が期日までに仕上げられていない科目がたくさんあるようだ。	発達障がいや その傾向が あるかもしれません。 サポートハンドブック PI0~I3へ
4	指示したことが伝わっていないように感じることがある。	
5	自分の意見を書く課題がでると、提出しない。	
6	ゼミの仲間や同級生とかかわっている姿をあまり見かけない。	
7	対面よりもオンライン授業の方が、課題をよく提出できている。	
8	授業(対面&オンライン)への遅刻や欠席が目立ち始めた。	
9	演習やゼミで、グループワークや発表する課題が増えてから、遅刻や欠席が目立ちはじめた。	
10	べたべたと甘えてくるかと思えば、突然敵対的になったり、恋人や友人関係の変化が激しかったりと、対人関係が不安定。	
11	いきなり泣き出したり大声を出すなど、情緒が不安定。	
12	教員と学生という関係を越えて、個人的な関係を求めてくる。	
13	自傷行為をしていると打ち明けられた。あるいはその痕跡がある。	
14	犯罪被害や近い人との死別など、外傷的な体験をしている。	
15	人前や電車の中など特定の場面で、動悸や息切れのような身体症状が現れ、しばしばそのために求められる課題を遂行できない。	
16	気持ちの落ち込みが激しく、覇気がない。	
17	話すときにこちらと目が合わない。明らかにおびえて緊張している。不安そうである。	
18	死にたいと訴える。過量服薬など自殺未遂の既往歴がある。	
19	主に対人関係上の妄想的な訴えがあり、常識的な説明では修正されない。またその妄想により周囲の人間関係でトラブルを起こす。	
20	お風呂に入る、爪を切る、髪を洗う、のような身体衛生に関する基本的なセルフケアができていない。	
21	体重の増減が激しい。	
22	不眠や食欲不振の訴えがある。	
23	ギャンブル(主にパチンコ)、カルトが疑われる課外活動や勉強会にはまっている。	
24	上記に必ずしも当てはまらなくても、相談にのる教員側の負担感が大きい。あるいは増してきた。	支援部署との連携が必要です。

障がい学生
サポートハンドブックは
こちらから
クリックでもご覧いただけます



大阪教育大学修学支援センター

- ◇カウンセリングルーム 柏原キャンパス 事務局棟1階 N-115
連絡先:072-978-3312(学生支援課)
天王寺キャンパス 中央館4階 413
連絡先:06-6775-6678(天王寺地区総務課)
- ◇障がい学生修学支援ルーム 柏原キャンパス C6棟2階
天王寺キャンパス 中央館2階 204
連絡先:sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp
柏原キャンパス:072-978-3479 天王寺キャンパス:06-6775-6657